

地域別市民意見交換会の報告

～「協働のまちづくり」に対する市民の意見と議会の考え方～

高山市議会では、議会の活動について報告するとともに、市政全般について各地域の皆さんと意見交換を行う地域別市民意見交換会を開催しています。

今年度は、平成27年11月4日から11月27日までの間に、市内21会場において開催し、延べ522人の市民の皆様にご参加いただきました。いただいたご意見は、議員全員で共有するとともに、各常任委員会における政策課題の調査・研究などを通じて、政策提言等につなげてまいります。なお、今回の意見交換会においては、今年度からスタートした「協働のまちづくり」に関するご意見を数多くいただきました。

第八次総合計画では、今後の市政運営においては、人口減少・少子高齢化の進展、経済環境の変化など様々な課題が山積しており、多様化・複雑化する市民ニーズや行政課題に、これまでのような仕組みや体制で対応していくには限界があるため、市民が主役という考えのもと、地域社会を構成する多様な主体が協働してまちづくりに取り組む、「協働のまちづくり」をすすめるとしています。

議会としては、「協働のまちづくり」が今後のまちづくりの方向性を左右する重要な取り組みであるゆえ、その取り組みにあたっては、拙速な対応、行政からの一方的な押しつけではなく、地域が今まで培ってきた歴史、地域の特性、住民感情等を十分に踏まえ、十分な議論をするなかで、みんながあるべき姿を共有しながら、すすめる必要があると考えています。そうした点を踏まえ、第八次総合計画の策定時においても、「協働のまちづくりに対する市民意識の醸成と推進体制の整備」、「地域と行政が対等の立場で地域づくりについて議論できる場の検討」などを内容とする政策提言を市長に提出したところです。



地域別市民意見交換会の様子

「協働のまちづくり」に関する取り組みの現状や今回の意見交換会でいただいたご意見を踏まえ、現時点における議会の考え方をお示しします。

項目	市の主な取り組み	市民からのご意見	現時点における議会の考え方
協働のまちづくり	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が主役という理念のもと、地域社会を構成する多様な主体が、お互いの存在意義を認識し、尊重し合い、お互いの持てる能力を発揮し、ともに手を携えて、まちづくりに取り組む <p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度 社会教育委員や地域基幹組織等との議論を開始 平成25年度 モデル地区(花里・一之宮)での取り組み、市民説明会の開催(21回)、各地区準備委員会の立上げ 等 平成26年度 各地区でまち協設立 等 平成27年度 各地区まち協の活動開始、まちづくり協議会円卓会議・連絡会議の設置 等 	<ul style="list-style-type: none"> 目的がよくわからない 協働のまちづくりの必要性が多くの市民に浸透していない 高山地域と支所地域等地域間で、協働のまちづくりについて捉え方に温度差がある 	<ul style="list-style-type: none"> これからのまちづくりにおいては、地方分権の進展に伴う自立した個性豊かなまちづくり、地域に誇りと愛着を持ったまちづくりが求められている 協働のまちづくりへの取り組みはその一助となるものであり、大いに期待している 一方、協働のまちづくりへの取り組みは、地域と行政があるべき姿を共有しながら、十分な議論をすすめるなかで、熟度を増していく取り組みである 拙速な対応、行政からの一方的な押しつけになっていないか、と懸念している 市民説明会は開催されているものの、将来につながる地域づくりを市民自らが積極的に取り組もうという意識の醸成には至っていないとの感はぬぐえない 協働のまちづくりの必要性も含め、更なる市民意識の醸成が必要である。また、協働のまちづくりの推進にあたっては、地域におけるこれまでの取り組みや地域の特性を考慮すべきである 加えて地域の意見の反映、企画・運営、財源、まちづくり方針の決定等、推進に伴うさまざまな課題への対応が図れるよう、相談窓口や支援体制も整えるべきである